

医学系研究に関する情報の公開について

(2020-60)

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	タケキャブ内服による胃腺腫の白色変化(WOS)明瞭化について
所属科*	消化器内科
研究責任者*	若原 佑平
研究実施期間	開始 西暦 2019 年 4 月 1 日 ~ 終了 西暦 2020 年 8 月 31 日
対象疾患(予定症例数)	未定 (症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 2019 年 4 月 1 日 ~ 至 西暦 2020 年 8 月 31 日
研究概要*	<p>① 目的 以前より、制酸剤(PPI/P-CAB)による胃粘膜変化は数多く報告がなされているが、今回 P-CAB(タケキャブ)内服による胃腺腫の白色変化が他の PPI などの内服時よりも顕著に明瞭化していた。今回 P-CAB(タケキャブ)内服をしていない胃腺腫症例を対象とし P-CAB(タケキャブ)内服による胃腺腫の白色変化を既存のデータから集計し報告することを目的とする。</p> <p>② 対象 当院・他院での上部消化管内視鏡検査で胃腺腫と診断されたタケキャブ未内服の症例で、術前精査時よりタケキャブ内服開始され、内視鏡治療がなされた症例</p> <p>③ 方法 術前精査時の上部消化管内視鏡検査の際の診断目的の組織生検にて脂肪染色を追加します。その後治療開始までの間、タケキャブを食後1日1回内服していた症例において、内視鏡切除後標本の組織において再度脂肪染色を追加し、タケキャブ内服前後での病理組織学的変化を調べることで白色変化の原因を解明します。 現時点でタケキャブ内服前後で脂肪滴の沈着が出現することが証明されており、既存の内視鏡画像と病理結果を集計し case report として論文化することを予定しております。</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	<p>連結不可能匿名化を行い、個人情報を保護します。</p> <p>学会や論文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。</p>
研究の問い合わせ先*	<p>大阪労災病院 消化器内科 若原 佑平 〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町 1179-3 電話番号：072-252-3561</p>